

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,495人
世帯数
3,038世帯
平成28年2月現在

煙の恐ろしさを体験

第13回防災フェスティバル開催

五常校区自主防災会と五常校区コミュニティ協議会は2月28日に第13回防災訓練・防災フェスティバルを開催しました。防災訓練は「早朝に震度6強の地震発生」を想定し、自治会長を先頭に第一次避難所である五常小学校へ避難誘導する訓練と、初期消火や応急搬送などを体験する訓練の二部構成で行いました。運動場での訓練には伏見方市長が激励に来てくださり、緊



伏見市長から激励の言葉



煙体験テントは怖かった、びっくりぼん！

急搬送訓練などに参加されました。今回の訓練の目玉は、煙道体験でした。二人一組で煙が充満している特設テントに入り視界不良のなか姿勢を低

くして出口に向かうのですが、参加者からは「想像以上に怖かった」とか「煙の恐ろしさが実感できた」などの感想が聞かれました。煙の怖さをあらかじめ知っていると、いざという時にきつと役立つと感じました。今年の参加者は残念ながら300人を切りました。ここ数年、初期消火や救急救命など同じ内容を実施しているため、住民の皆さんにもマンネリ感があつたのかも知れません。しかし、年に一度は避難訓練を体験しておくことが、緊急時にも落ち着いて行動するためにも極めて重要なのです。

南海トラフ大地震は、今世紀前半に確実に起きると言われています。地震を防ぐことはできませんが、被害を少なくすることは準備次第で可能です。今回参加しなかった方も市などが行う防災訓練や研修には積極的に参加し、



消火器も使ってみましょう

地震時の家族間の連絡方法などを、今一度話し合ってみましょう。

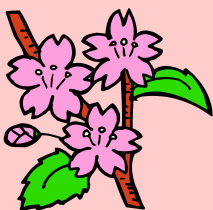
さくら祭りに来てね

第7回煙突山さくら祭りを開催。
とき：平成28年4月10日(日)
午前10時から午後3時
ところ：枚方市水道局妙見山配水池
(通称エントツ山)

配水池は重要な水道施設であることから、法令で衛生上の特別の配慮が求められており、普段は入れません。当日のペットの入場は禁止されています。

妙見山煙突は枚方市の戦争遺跡に指定されています。当日は枚方市人権政策室の見学会が同時開催されます。この機会に是非お越しください。

なお、名園「以楽公園」は3月25日から4月8日まで公開されます。





定見通りの擁壁、茶色の部分が拡幅された歩道

UR都市機構跡地の開発状況

戸建て住宅地区の擁壁工事進む

郵便局南地区

五常小学校西側の郵便局南地区では定見通りの擁壁が完成し、約1メートル歩道が拡幅されました。擁壁の高さは4mほどです。

以楽公園交差点から学校前の横断歩道までの擁壁工事は継続中ですが、4月の新学期までには完成させ、仮歩道から本歩道へ移行させるべく、急ピッチで工事が進められています。



桜通りの擁壁が完成

ローソン南地区

桜通り側には沿道の桜の背丈を超える擁壁が完成しています。擁壁表面は

桜通りや郵便局前付近の擁壁も順次完成しています。



以楽公園付近の擁壁、角切りが行われた



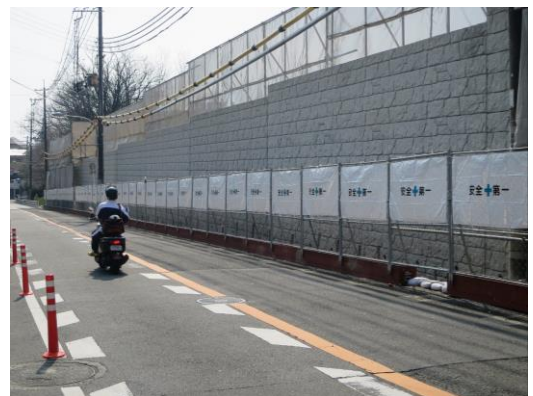
五本松から七丁目への坂道の拡幅部分も見えてきた

石垣様の化粧が施されていますが、これまでとは少し雰囲気が変わりました。五本松から七丁目への坂道の擁壁はほぼ完成し、仮枠の内側には完成後に供用される70cmの拡幅予定空間を見ることができそうです。排水管理工事などの影響で予定より少し遅れ気味です。

四中北地区

周囲の既存の石垣などがすべて撤去され、東側(山之上側)の擁壁工事が四中側から順次建設されています。桜通り側はすでに完成しています。構内では斜面を活用するための造成工事が

進められています。



四中北地区・東側の擁壁も順次完成

病院敷地工事開始

高低差のある敷地に病院建物を建築するため、土地の改変・整地が行われます。南側のいわゆる「地獄坂」に面する石垣や斜面は大部分が撤去されます。土地造成については、枚方市の許可が下り、3月末に着工予定です。造成工事による影響を確認するための事前調査が周辺の建物に対して行われる予定です。コミュニティ協議会としては安全対策や環境対策を確実に実施するよう要請しています。

燃え上がる「とんど」に新年の幸を祈る

第26回とんど祭りを開催

とんど祭りは、しめ飾り、門松、書き初めなどを持ち寄って焼き、一年の無病息災を祈願する行事として小正月(1月15日)に行われてきたもので、地域によって「とんど」「とんど焼」などと呼ばれています。五常校区のとんど祭りは今年26回目となりました。

1月10日の青空をバックに威勢よく燃え上がるとんどに参加者は「新しい年の願い」を託しました。参加者は、焼き芋、ぜんざい、豚汁を、大人



勢いよく燃えるとんど櫓

には御神酒も振る舞われ、大勢の家族連れがこれを楽しみました。バルーンアートは今年も子どもにも大人気でした。各自治会等から選出された実行委員

やボランティアの皆さんには前日の竹の伐採、振る舞いの準備、当日早朝からとんど櫓(やぐら)の設置などに奮闘していただきました。

櫓の竹が破裂する音や、舞い上がった藁の燃えかすが住居に落ちるなど、近隣の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。地域の絆をつくる伝統行事に今後皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

卒業を祝うお餅つき

コミュニティ協議会では毎年2月に、6年生の卒業を祝って「紅白のお餅」を贈っています。今年も2月23日に当協議会の呼びかけに応じて参集してい

ただいた有志の皆さんの協力により、

1斗のお餅をつきました。子ども達の声援を受け、教頭先生と6年生担任の先生にも頑張っていたいただきました。

五常小学校を巣立つ6年生の皆さんが、立派な中学生になるよう、声援をおくりまします。頑張れ!

← 餅をまるめる女性陣

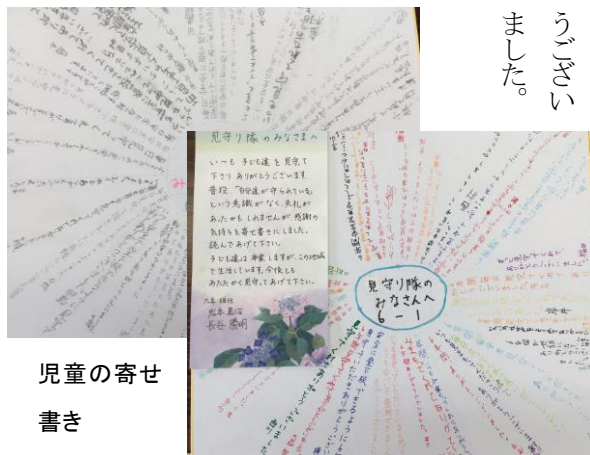


児童に見守られ餅つきにも力が入ります

見守り隊に

感謝の寄せ書き

五常っ子見守り隊には、ボランティアの皆様と、各自治会からも多くの皆様に参加していただき、今年も無事に見守り活動を続けることができました。ありがとうございました。



児童の寄せ書き

卒業していく五常っ子から、感謝の言葉を記した寄せ書きをいただきました。4月には新一年生が笑顔で下校してきます。新年度も多くの皆様の参加をお願いいたします。

五常校区コミュニティ協議会と自主防災会

五常校区コミュニティ協議会って何？住民との関わりは？など、疑問を持つ方のために、これまで何度か特集を組みましたが、再び解説します。

◎コミュニティ協議会

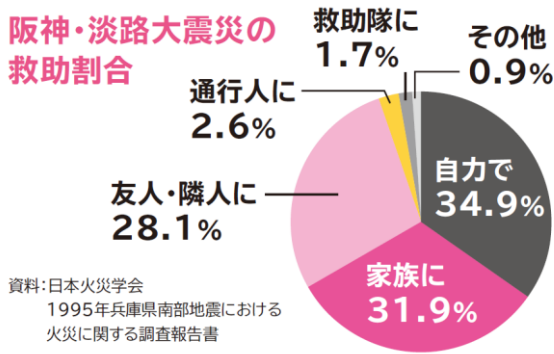
校区コミュニティ協議会は小学校区の自治会及び各種団体（防犯協議会、福祉委員会、交通対策協議会など）で組織され、市内45の小学校区のすべてに設置されています。枚方市は校区コミュニティ協議会を行政と対等で協力し合う「地域の窓口」と位置付けています。安全・安心で魅力あるまちづくりを推進し、地域住民の連携の促進をはかるため、校区コミュニティ活動補助金を交付しています。補助金は、地域の弾力的な運用が可能な「基礎額」と、使途を限定した「特別事業額」となっています。

ちなみに平成27年度の五常校区コミュニティ協議会への補助金は基礎額47万8千円、自主防災活動費20万円、

小地域ネットワーク活動50万円です。特別事業額は全額、自主防災会及び校区福祉委員会の活動費として使われています。

◎自主防災会

阪神淡路大震災では救助された人の6割が家族や隣人などによって救出され、公的機関に救助された人はわずか2%だったことから、地域住民の役割が再認識されました。



出所：消防庁ホームページ

これを受けて災害対策基本法が改正され、自主防災組織の育成が防災行政の最重要課題として市長の責務となり、枚方市は各校区コミュニティ協議会に自主防災組織の設立を呼びかけました。自主防災会は全ての小学校区に組織され、五常校区では平成15年11月に設立されました。

自主防災会では全ての住民が会員となり、自治会長には各自治会の防災リーダーの役割が期待されています。

五常校区自主防災会の活動費は自主防災活動に使途を限定された市の補助金（特別事業額）とコミュニティ協議会からの拠出金などで賄われています。

◎両者の関係と主な活動

現在は、コミュニティ協議会役員が自主防災会の役員を兼務し、両組織は表裏一体となって活動をしています。主な活動としては全住民を対象とした防災訓練（防災フェスティバル）や自治会の会長及び防災担当者を対象とした研修や防災研究会を実施しています。

◎地域防災推進員

枚方市は、災害時に救助や消火等を

初め、地域内での防災活動の先導を行うとともに、自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担う「地域防災推進員」を育成しています。市主催の2日間の研修（理論及び実技）修了が必要で、修了後は各地域での活動への参加が期待されています。

五常校区には現在18人の推進員がおられ、防災訓練では指導的役割を担っています。各自治会におかれても推進員の育成に御協力をお願いします。育成研修の情報については自主防災会にお問い合わせください。

五常校区の安全

五常っ子見守り隊や、あいさつ運動、七香会など一部の自治会の見回り活動等により、平成27年の空き巣、忍び込み、ひったくり件数はゼロでした。

自転車盗や部品狙いはそれぞれ2件ですが、市内では犯罪の少ない街となっています。

今後も校区の安心安全の確保に取り組みましょう！